

日本天文学会1998年春季年会講演予稿執筆要領

講演を申し込まれる方は、裏面の形式にしたがって、1998年1月8日(木)必着で、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、下記までお送りください。

〒181 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

講演の申し込みにあたっては次のことに注意してください。

●題目関連

- (1) 1講演につき1部提出してください。2講演以上申し込まれるなど用紙が不足する場合には、必要枚数を明記の上、上記日本天文学会まで用紙を請求してください。
- (2) 分野、講演題目、氏名、所属などは左詰めで記入してください。さらに、分野、筆頭講演者氏名とひらがな表記、会員番号を右1箇所に入力してください。
- (3) 氏名(所属)はスピーカーを筆頭におき、所属ごとにまとめて書いてください。
- (4) 筆頭講演者の会員種別に○をつけてください。
- (5) 発表形式を1つ選び、○をつけてください。ただし、口頭発表(10分)は同一筆頭講演者につき1件のみ受け付けます。
- (6) ビデオ機器(VHS方式)を用意します。希望者は有に○をつけてください。ビデオは10分講演のみ使用できます。
- (7) 非会員の方は右下の所定の欄に電話番号・ファックス番号・メールアドレスを記入してください。

●本文

- (1) 分野欄には次の項目の中から1つ選び、記入してください。また、2~3個のキーワードを自由に選び、括弧書きで付記してください。
J.位置天文学、K.天体力学、L.太陽系、M.太陽、N.恒星、P.星形成、Q.星間現象、R.銀河、S.活動銀河核、T.銀河団、U.宇宙論、V.地上観測機器、W.飛翔体観測機器、X.情報処理、Y.天文教育・その他
- (2) 氏名の下の大いなる空欄に黒で明瞭に予稿原稿を書いてください。枠線をはみ出たものの印刷は保証できません。この原稿を90%程度に縮小して印刷します。
- (3) 委員会切断用の破線にまたがって印字しないでください。
- (4) 別紙に印刷したものを貼り付ける場合は、粘着テープなどを使わず、糊で確実に貼ってください。

●e-mailでの予稿受け付けについて

受け付け期間：1月5日(月)正午~1月9日(金)正午

- (1) e-mailでの予稿の書き方、送り方、およびフォーマットはtennetを通して連絡します。tennetから直接情報入手できない方はtennet加入者にお聞きください。直接学会への問い合わせにはお答えできません。
- (2) 郵送とe-mailとの二重の申し込みは固くお断りします。
- (3) e-mail投稿はミスがないかを十分確認のうえ、1回だけ投稿してください。再投稿はできません。
(年会実行委員長 加藤万里子)

記入例

<p>日本天文学会年会予稿原稿用紙 (記入にあたっては裏面を参照のこと)</p>		<p>分野 恒星</p>
<p>筆頭著者名 <small>(漢字、 外国人はアルファベット)</small> 柿 区 卦 子</p>		<p>姓 <small>(ひらがな、外国人はアルファベット)</small> か ぎ</p>
<p>名 <small>(ひらがな、外国人はアルファベット)</small> く げ こ</p>		<p>発表形式 <small>(該当するものに○)</small> <input type="radio"/> 口頭発表 (10分) <input checked="" type="radio"/> 口頭 (3分) + ポスター ビデオ使用 (10分講演のみ) <input type="radio"/> 有 <small>(該当するものに○)</small></p>
<p>会員種別 <small>(該当するものに○)</small> <input checked="" type="radio"/> 正会員・準会員・非会員 会員番号 0523</p>		<p>会員種別が非会員の場合のみ 連絡先 電 話： ファックス： メールアドレス：</p>
<p>左詰め 恒星(ブラックホール、スペクトル) 日本天文学会 1998年春季年会</p> <p>左詰め ブラックホール候補天体サーベイ</p> <p>左詰め 柿区卦子(国立天文台)、Warshawski,V.I.(東大総合文化)</p>		
<p>これまでブラックホール候補といわれている天体は10余見ついているが、そのほとんどはスペクトルの時間変動などの状況証拠に基づいており、決定的な証拠に欠ける。そこで我々はブラックホール候補を見つけるためのサーベイを行ない、ブラックホールの決定的特徴をあぶり出した。サーベイは、昨年打ち上げられた、ブラックホール候補探査専用X線天文衛星「なら」を用い、光学同定およびスペクトルは光学宇宙望遠鏡「へいあん」により行なった。その結果、カメレオン座に101個のブラックホール候補天体を発見、そのうち光学的に同定されたものは83個であった。それらのスペクトルの特徴から、ブラックホール候補天体を大きく二つのグループに分ける新基を導いた。 第一のグループは、...</p>		

日本天文学会年会予稿原稿用紙
(記入にあたっては裏面を参照のこと)

切り取り無効

左詰め

分野 (キーワード)

左詰め

題名

左詰め

氏名 (所属)

切り取り無効

日本天文学会
1998年春季年会

分野

筆頭著者名 (漢字、
外国人はアルファベット)

姓 (ひらがな、外国人はアルファベット)

名 (ひらがな、外国人はアルファベット)

会員種別 (該当するものに○)

正会員・準会員・非会員

会員番号

発表形式 (該当するものに○)

a. 口頭発表 (10分)

b. 口頭 (3分) + ポスター

ビデオ使用 (10分講演のみ)

無・有 (該当するものに○)

会員種別が非会員の場合のみ

連絡先

電 話 :

ファックス :

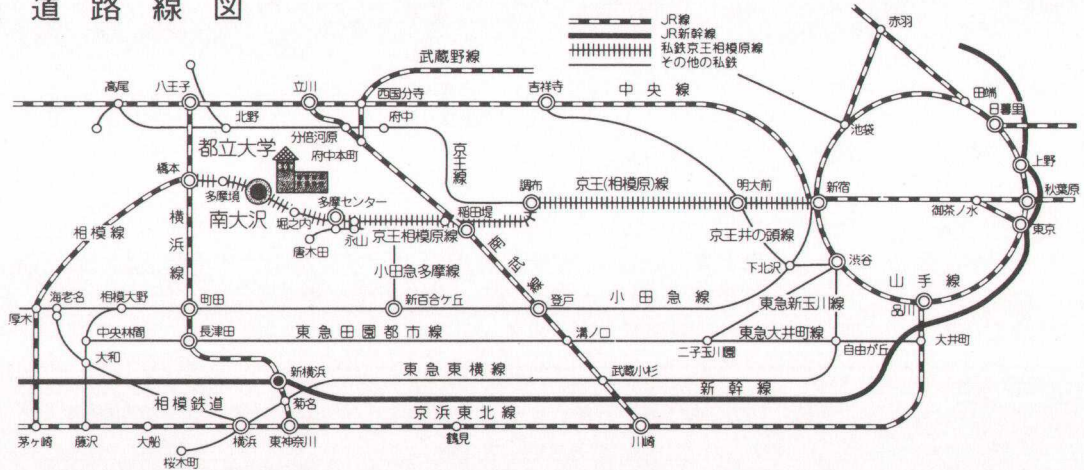
メールアドレス :

切り取り無効

春季天文学会会場（東京都立大学）のご案内

- ◆JR東京駅より新宿にて京王相模原線に乗り換え。約61分
 - ◆JR新横浜駅より橋本にて京王相模原線に乗り換え。約38分
- (注；待ち時間・乗り換え時間を含みません)

鉄道路線図



☞京王相模原線「南大沢駅」より、改札を出て右手へ直進、徒歩5分

春季天文学会宿泊等の案内

平成10年3月16日（月）～3月18日（水）にかけて東京都立大学で開催される、天文学会の宿泊を、東京都立大学生協がお世話いたします。

○宿泊ホテル

橋本シティホテル

- ☞京王線・JR線橋本駅より徒歩3分
- シングル 1泊素泊まり
- 6,630円（サービス料税金込み）

京王プラザホテル多摩

- ☞京王線多摩センター駅より徒歩1分
- 東館・西館シングル 1泊素泊まり
- 東 9,450円（サービス料税金込み）
- 西10,500円（サービス料税金込み）
- 東館ツイン2名様料金 1泊素泊まり
- 14,700円（サービス料税金込み）
- ※朝食追加@1,050円追加（1名）

○お申し込み方法

宿泊希望の方は、下記の事項をFAXまたは郵送にて都立大生協へお早めにお申し込み下さい。

- (1) 氏名（漢字／ふりがな）
- (2) 連絡先：住所／電話番号／FAX番号
- (3) 宿泊日
- (4) 希望ホテル名

○申込先

東京都立大学生協同組合

TEL：0426-77-1413

FAX：0426-77-1410

☎192-03 八王子市南大沢1-1

担当：金窪（かなくぼ）

※申込後、予約確認書／振込案内書
ホテル案内をFAXもしくは郵送致します。

○お申し込み期限

2月20日（金）迄にお申し込み下さい。

○取消料について

宿泊予約後、キャンセルされる場合は下記の料率で取消料がかかります。

- 不泊／当日取消・・・100%
- 前日・・・50%
- 4日前～2日前・・・20%
- 5日前～10日前・・・10%

日本天文学会年会旅費補助について

日本天文学会は、年会の出席旅費の補助を行います。希望者は、該当する年会の申込締切日までに下記の用紙に記入の上、申請して下さい。応募資格は、1998年度会費納入済みの方で、筆頭講演者（ポスター講演を含む）に限ります。また、年会発表時に正会員（学生）であって、正式の給与（日本学術振興会特別研究生としての給与などを含む）を受けていない者とします。

社団法人 日本天文学会理事長

1. 旅費は、年会会場でお渡ししますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越し下さい。年会終了後にはお渡しできませんので、ご注意下さい。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙を複写したものを使用しても構いません。
4. 申込は 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会 まで郵送またはFAXでお願いします。締切は、1998年1月30日（金）必着 です。なお、電子メールでの申請は受け付けていません。

----- キリトリ -----

年会旅費補助申請書

199 年 月 日

社団法人 日本天文学会
理事長殿

(フリガナ)

申請者氏名 _____

会員番号 _____

連絡先 _____

電話番号 (- -)

ファックス (- -)

日本天文学会年会において研究発表を行うための出席旅費の補助を申請します。

所属機関名		身分・学年	
分野 発表研究題目			
発表者氏名 (全員)			
出発地			
参考事項			